

乳がん高度検診・治療センター

NEW—すNO.102

BRCA変異陽性乳がんの術後治療に 新たな治療選択肢 ~リムパーザ®の適応拡大~

2022年8月より

「BRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性で再発リスクの高い乳がん患者さん」
に対し、術後薬物療法としてリムパーザ®が使用できるようになりました。

リムパーザ®とは



リムパーザ®(一般名:オラパリブ)はがん細胞の生存に欠かせないPARPタンパクの働きを阻害する薬です。日本においては、2018年1月に再発卵巣がんの患者さんに対して保険適応となり、乳がんでは2018年7月に、遺伝学的検査でBRCA遺伝子変異陽性と診断された転移・再発乳がんて一定の条件をみたす患者さんへの使用が承認されました(乳がん高度検診・治療センターNEW—すNO.51参照)

リムパーザ®により死亡リスク低下

適応拡大の根拠となった国際的な臨床試験で、BRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性の再発リスクの高い乳がんにおいて、根治的な初期治療を終了した患者さんを対象に、術後薬物療法としてのリムパーザ®の有効性および安全性が検証され、リムパーザ®投与群は非投与群と比較して大幅に再発および死亡リスクを低下させることが示されました。

リムパーザ®使用までの流れ

BRCA検査

血液検査



(3~4週間)

結果

BRCA
遺伝子
変異陽性

周術期の化学療法終了後

リムパーザ®服用
(1年間)

副作用

吐き気、貧血、
疲労などですが、
食事の工夫や
吐き気止めで
対応可能です。

検査の対象など、わからないことがあれば、
乳がん高度検診・治療センターまでお問い合わせください。

乳腺外科 泉井綾香

市立貝塚病院 TEL: 072-422-5865